岐阜県の農福連携

ノウフク・アワードとは

農福連携に取り組んでいる優れた事例を表彰
今年度は岐阜県から3団体が受賞

3団体同時受賞は全国初

2026	
優秀賞	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター（岐阜市）
	株式会社 マテリアル東海（下呂市）
フレッシュ賞	中電ウイング 株式会社（可児市）

＜過去の受賞歴＞

6年連続受賞は岐阜県のみ

2025	
チャレンジ賞	株式会社 マテリアル東海（下呂市）

2024	
優秀賞	株式会社 ＪＡぎふはっぴぃまるけ（岐阜市）
フレッシュ賞	岐阜県立岐阜本巣特別支援学校（岐阜市）

2023	
優秀賞	株式会社 ＬＳふぁーむ（岐阜市）
フレッシュ賞	全国農業協同組合連合会岐阜県本部（岐阜市）

2022	
優秀賞	株式会社 ＤＡＩ 就労継続支援A・B型 それいゆ（関市）

2021	
フレッシュ賞	株式会社 ＪＡぎふはっぴぃまるけ（岐阜市）

延べ10受賞数は全国１位

延べ受賞数
第1位　10受賞(岐阜県)

2026 ノウフクアワード 優秀賞

岐阜県の農福連携

国立大学法人　東海国立大学機構
岐阜大学　応用生物科学部附属
岐阜フィールド科学教育研究センター


収穫作業の様子


重機操作の資格を取得


ジャムなどの食品加工にも従事

障がい者職員が学生実習時に補助者として活躍！

基本情報

属性	教育機関
市町村	岐阜市
農福連携取組開始	平成29年
主な認証取得	ノウフクJAS
農林水産物	野菜、米、イモ類、豆類、果物、牛乳、肉牛、鶏卵
加工品	ジャム、漬物、木材加工品

受入者

身体障害	－	生活困窮	－
精神障害（発達含む）	－	ひきこもり	－
知的障害	○	高齢者	－
その他障害	－	その他	－

農業従事障がい者等数	売上高
1名→8名（当初→R8）	1．2倍（R3→R7）

特徴的な取組

○障がい者職員が、部分作業だけでなく栽培・飼育・加工・販売まで一連の業務を担当

○ノウフクJASを他大学に先駆けて取得し、地域のマルシェやスーパー等でPR販売

○幼稚園や特別支援学校等の農業体験を受入れ、障がい者が補助対応している

成果

○障がいのある職員が農場の担い手として成長し、役割や自信を育んでいる

○学生実習にも補助者として参画し、大学生が農福連携を実践的に学ぶ機会を創出

○特別支援学校と連携した実習・インターンシップを通じて雇用の機会を創出

職員の声

○「仕事の提供」がゴールではなく、“共に働く仲間”として人材育成と共生を目指す

○障がいのある職員と学生が共に学び、成長する“大学ならではの農福連携”を図る

2026 ノウフクアワード 優秀賞

岐阜県の農福連携

株式会社マテリアル東海



良い繭の選別作業（選繭）



繭づくりのための作業（上蔟）



イチゴハウス内作業（収穫）

「養蚕」の復興により伝統と農福を盛り上げる！

基本情報

属性	農業経営体
市町村	下呂市
農福連携取組開始	令和元年
主な受賞歴	ノウフク・アワード2025チャレンジ賞
農林水産物	いちご 養蚕（繭として出荷）
加工品	布団・クッション （繭を加工した真綿使用）

受入者

身体障害	○	生活困窮	○
精神障害（発達含む）	○	ひきこもり	－
知的障害	○	高齢者	○
その他障害	－	その他	－

農業従事障がい者等数	売上高
10名→24名 （当初→R7）	約1.9倍 （R4→R7）

特徴的な取組

○作業工程を細分化し、多様な方が農作業に従事

○伝統産業の復興、耕作放棄地の活用、資源の再利用等を目指す

（株）マテリアル東海
業務委託 ↓ ↑ 農作業に従事
（社福）さくらの花（就労継続支援A型・B型）

○繭からつくる“真綿”を使用した布団の製品化など6次産業化にも取り組む

成果

○荒廃農地を桑園へ再生し、自給自足の養蚕を実現

○短期間で仕事の成果が形（繭）になり、達成感と自信が得られる環境を整備

○市内唯一の観光いちご農園は地域コミュニティの創出にも寄与

職員の声

○「継続と拡大」を見据え、更に地域で必要とされるよう発展に向け取り組んでいく

○農福連携は就労の場だけでなく「必要とされている実感」を生み出せる場

2026 ノウフクアワード フレッシュ賞

岐阜県の農福連携

中電ウイング株式会社



いちごの収穫



スマート輸送の取組



贅沢バウム　ウイングいちご

きめ細やかな管理による高品質いちご生産！

基本情報

属性	特例子会社 （親会社：中部電力）
市町村	可児市
農福連携取組開始	令和4年
主な認証取得	JGAP
農林水産物	いちご
加工品	いちごのジャム、 バームクーヘン、 ジェラート、もち菓子

受入者

身体障害	○	生活困窮	－
精神障害 （発達含む）	○	ひきこもり	－
知的障害	○	高齢者	－
その他障害	－	その他	－

農業従事障がい者等数	売上高
0名→3名 （当初→R7）	約3．3倍 （R4→R7）

特徴的な取組

○高い集中力の持続と細かな作業が得意な障がい特性を活かしたイチゴ生産を開始

○廃棄ゼロファームを目指し他事業者とコラボしたバウムやジャム、飼料等にも活用

○障がい者が遠隔監視する自動配送ロボットによるスマート輸送の実証実験を実施

成果

○障がい者が摘み取り体験の来園者対応を行うことで、自信とモチベーションが向上

○市場から品質で評価されるいちごを目指し、ブランディングを行い百貨店等で販売

○近隣の小学校を招いた摘み取りや定植体験を通じ、多様性を学ぶ機会を創出

職員の声

○障がい者ごとの作業価値をより高め、定年まで働ける職場環境を創出する

○農福連携を通じて、さらに多様な事業者とつながり、新たな事業展開を実現する